



社会貢献支援財団、 「平成19年度社会貢献者表彰」の 受賞者を発表

人命救助の功績など三分野43件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 日下公人）は、「平成19年度（第37回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46（1971）年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千6百件以上に上っている。

5月31日までに寄せられた208件の推薦の中から選考の結果、1.「人命救助の功績」9件、2.「社会貢献の功績」33件、「特定分野の功績」1件、合計43件を表彰することとなった。受賞者には夫々『日本財団賞』として副賞50万円が贈られる。

なお、表彰式典は11月13日（火）にANAインターコンチネンタルホテル東京（旧全日空ホテル）で行われる。

「平成19年度社会貢献者表彰」の概要

*候補：208件

*受賞：43件

受賞内訳

- ・人命救助の功績：9件 / 日本財団賞（副賞50万円）
- ・社会貢献の功績：33件 / 日本財団賞（副賞50万円）
- ・特定分野の功績：1件 海の貢献賞 / 日本財団賞（副賞50万円）

功績区分の内容

1. 人命救助の功績

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

2. 社会貢献の功績

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

3. 特定分野の功績

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

表彰選考委員

- 委員長 内館 牧子 (脚本家)
- 犬丸 一郎 (トット基金 理事)
- 大武 健一郎 (商工中金 副理事長)
- 勝谷 誠彦 (コラムニスト、写真家)
- 神津 十月 (エッセイスト)
- 山根 基世 (元NHKアナウンサー)
- 米長 邦雄 (日本将棋連盟 会長)
- 吉永 みち子 (作家)

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
 TEL : 03-3502-0910
 FAX : 03-3502-7190
 E-mail : fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成19年度 表彰受賞者 (計43件)

【 人命救助の功績 】 9件 (敬称略)

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
1	千速 豊	54 歳	神奈川県	
2	奥山 慎也	23 歳	北海道	
3	平石 武蔵	12 歳	神奈川県	
	向原 大樹	13 歳	神奈川県	
	久保田 卓	12 歳	神奈川県	
4	小野木 康浩	39 歳	茨城県	
5	石井 健介	31 歳	東京都	
	石井 知美	32 歳	東京都	
6	山本 勲	57 歳	東京都	
	水野 智隆	27 歳	神奈川県	
	増井 英之	30 歳	東京都	
7	産田 裕希	14 歳	大阪府	
	産田 翔太	13 歳	大阪府	
	森 創平	14 歳	大阪府	
8	伊藤 源士	50 歳	山形県	
9	中崎 義洋	43 歳	徳島県	

【 社会貢献の功績 】

33件

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
10	上野 隆	76 歳	徳島県	
11	坂口 平	30 歳	長野県	
12	安田 謙志	57 歳	鹿児島県	
13	菱田 慶文	36 歳	東京都	
14	三好 洋子	56 歳	東京都	
15	廣中 邦充	57 歳	愛知県	
16	小倉 みゆ	86 歳	東京都	
17	近藤 愛子	81 歳	岐阜県	
18	平井 廣二	73 歳	茨城県	
19	北條 友梨	77 歳	東京都	
20	白岩 久夫	76 歳	東京都	
	白岩 徳子	69 歳	東京都	
21	五家 英子	55 歳	栃木県	
22	柴田 久美子	55 歳	島根県	
23	仲田 昭七	75 歳	奈良県	
24	塚越 恒徳	61 歳	千葉県	
25	雨宮 清	60 歳	山梨県	
26	永井 雄人	55 歳	青森県	
27	松崎 靖	55 歳	群馬県	
28	福田 千代子	74 歳	静岡県	
29	旗手 正守	86 歳	広島県	
30	ストップ・ガン・キャラバン隊		福岡県	
31	岐阜・野宿生活者支援の会		岐阜県	
32	田中 秀一	60 歳	富山県	
33	大滝 静男	78 歳	新潟県	
34	浜里 トミ	84 歳	沖縄県	
35	山本 雅基	44 歳	東京都	
	山本 美恵	49 歳	東京都	
36	エフゲニー・ニコラエビッチ・アクションノフ	83 歳	東京都	
37	眞喜子・山田・マゴナラ	53 歳	ITALY	
38	清水 猛	84 歳	富山県	
39	川端 千鶴子(Sr.Clotilde C.KAWABATA C.S.M.)	73 歳	BRAZIL	
	樫山 ミユキ(Sr.Paola Miyuki KASHIYAMA C.S.M.)	70 歳	BOLIVIA	
40	玄 秀盛	51 歳	東京都	
41	松本 淑子	65 歳	神奈川県	
42	カ・バン・トラン(Ca Van Tran)	55 歳	U.S.A	

【 特定分野の功績「海の貢献賞」 】

1件

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
43	大森 幸夫	71 歳	兵庫県	

1. 人命救助の功績

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

千速 豊 (昭 28. 10. 6 生 54 歳 / 神奈川県)

平成 18 年 11 月 15 日の朝、液化天然ガス運搬船の船長として、マラッカ海峡の入口にあたる
 Rond 島付近で沈没した漁船から退船し、漂流中の台湾人、中国人、ベトナム人の合計 20 名
 の遭難者を発見、海賊被害や船舶交通量など救助が難しいなかで、無事救助した。

推薦者 : 社団法人 日本船長協会

奥山 慎也 (昭 59. 1. 19 生 23 歳 / 北海道)

平成 18 年 11 月 24 日の午後、北海道の石狩市厚田区安瀬の約 50 メートル沖で、サーフィン中
 に漁船の転覆を目撃、高波のなかすぐに 2 人の救助に向かい、サーフボードを使い 2 人を救助
 し、1 人の命を救った。

推薦者 : 北海道石狩市

平石 武蔵 (平 7. 3. 17 生 12 歳 / 神奈川県)

向原 大樹 (平 6. 6. 20 生 13 歳 / 神奈川県)

久保田 卓 (平 6. 12. 11 生 12 歳 / 神奈川県)

平成 19 年 3 月 29 日、小学校を卒業した年度末、神奈川県二宮町の袖が浦海岸で昼食をとっ
 ていたところ、黒いものが浜辺に近付いてくるのを目撃し、人であることに気付き、咄嗟に
 救助と救急車の手配に手分けし、海中から浜辺に引上げ無事救助した。

推薦者 : 神奈川県秦野市教育委員会

小野木 康浩 (昭 43. 8. 29 生 39 歳 / 茨城県)

平成 19 年 5 月 5 日の昼、茨城県鉾田市の滝浜海岸で、潮干狩りにきていた母子が深みにはま
 り、流された母親の叫び声を聞いて、海へ飛び込み母子 2 人を救助した。またその直後、近
 くで男児が流され悲鳴をあげているのに気づき、泳いで救助し、3 人の命を救った。

推薦者 : 茨城県小美玉市

石井 健介 (昭 51. 3. 13 生 31 歳 / 東京都)

石井 知美 (昭 50. 8. 30 生 32 歳 / 東京都)

平成 18 年 8 月 14 日の夕方、東京のお台場海浜公園の遊泳禁止区域で、救助しようとした父親が溺れている子供 2 人に抱きつかれ、3 人共に溺れかけているのを目撃し、子供用の浮輪を持って飛び込み、3 人を浮輪につかまらせ、無事救助した。

推薦者 : 全国消防長会

山本 勲 (昭 24. 12. 14 生 57 歳 / 東京都)

水野 智隆 (昭 55. 1. 25 生 27 歳 / 神奈川県)

増井 英之 (昭 52. 9. 9 生 30 歳 / 東京都)

平成 19 年 1 月 26 日の夜、東京の JR 上野駅で酩酊した男性がホームから転落したのを目撃し、直ぐに軌道敷内に降り連携よくホームに引き上げ、心拍停止状態の男性に気道確保や心臓マッサージなどを施し、命を救った

推薦者 : 全国消防長会

産田 裕希 (平 5. 4. 8 生 14 歳 / 大阪府)

産田 翔太 (平 6. 8. 8 生 13 歳 / 大阪府)

森 創平 (平 5. 7. 29 生 14 歳 / 大阪府)

平成 18 年 8 月 16 日の夕方、大阪府能勢町山辺地内の砂防ダムで泳いでいた男性が溺れ、水中に沈んでいく所を目撃し、救助と助けを求める者に手分けし、迅速な関係により男性を無事救助した。

推薦者 : 大阪府能勢町教育委員会

伊藤 源士 (昭 32. 2. 26 生 50 歳 / 山形県)

平成 18 年 8 月 9 日の朝、山形県舟形町の最上小国川の河川敷で、川遊びをしていた小学生が溺れ、救助を求める声を聞き、直ちに現場に駆けつけ着衣のまま川に飛び込み、泳いで無事救助した。

推薦者 : 財団法人 警察協会

中崎 義洋 (昭 39. 3. 4 生 43 歳 / 徳島県)

平成 18 年 5 月 24 日の夕方、徳島市内の沖洲川に軽乗用車が転落するのを目撃し、直ちに仕事で使うハンマーを手に着衣のまま川に飛び込み、助手席の窓を割り、運転していた男性を無事救助した。

推薦者 : 社会貢献支援財団

2. 社会貢献の功績

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

上野 隆 (昭 5. 11. 26 生 76 歳 / 徳島県)

女性の社会進出や核家族化などにより、保育に対する要望が時代とともに多様化するなかで、40 年近くにわたり、乳児の保育所や就学前の児童の保育所、子育て情報センターなどを開設し、地域に開かれた保育活動の実践に取り組み、徳島県下の子育て支援事業の先駆的な役割を果たされた。

推薦者 : 社会福祉法人 助任福祉会

坂口 平 (昭 52. 8. 2 生 30 歳 / 長野県)

高校時代から、福祉施設などで支援活動を行なう地域に根ざしたボランティア団体の代表を努め、その後も長野県を中心とした障害者への支援活動を続け、その活動を通じ青少年のボランティア活動への参加を促進されている。

推薦者 : Young Volunteer Network

安田 謙志 (昭 25. 9. 30 生 57 歳 / 鹿児島県)

奄美手熟師会会長として、手熟（手先が熟達した職人）グループを率い、島の子供たちの想像力を高め、優れた技能の継承活動を 14 年間にわたり続けられる一方、本場大島紬のふるさと奄美で明治期に消えた幻の織物「花おり」を復活させるなど、南島・奄美の伝統文化を守るための活動を続けられている。

推薦者 : 原井 一郎

菱田 慶文 (昭 46. 4. 3 生 36 歳 / 東京都)

早稲田大学大学院在籍中、東京都台東区浅草の荒れた傾向にあった中学校へ大学の教授を通じ、スクールパートナーとして派遣され、校内の沈静化に努めるとともに同区の廃校になった中学校を借り、格闘技道場を主催し、区内外のさまざまな問題を抱えた少年少女の相談相手となるなど支援活動を行っている。

推薦者 : 藤本 晴子

三好 洋子

(昭 26. 1. 2 生 56 歳 / 東京都)

東京の世田谷にある家庭に帰れないなど問題を抱えた子ども達の自立援助ホーム「三宿憩いの家」のいわゆる寮母として、早朝からの弁当作りや相談相手、そして職場探しなど、29 年間にわたり献身的に約 200 人の少年少女の社会復帰の手助けをされた。

推薦者 : 遠藤 法子 / 船山 泰範

廣中 邦充

(昭 25. 8. 28 生 57 歳 / 愛知県)

住職である愛知県岡崎市のお寺(西居院)に不登校、虐待、薬物依存、拒食症など家庭では解決困難な悩みを抱える子ども達を全国から引き取り、「一人で苦しむな。みんなここに来い。」と立ち直りのための共同生活を送り、子ども達と真剣に向き合いながら、約 500 人の男女を送り出されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

小倉 みゑ

(大 10. 6. 16 生 86 歳 / 東京都)

第二次大戦中にインドネシアのジャワ島の海軍施設に勤務していた経験から、戦後現地の子どもの成長を願い、私費によりジャカルタに「日本語学校ミエ学園」を 1994 年に設立するとともに奨学金制度も設け、子ども達を支援され、以来約 1500 人以上が学園を巣立っている。

推薦者 : 長 洋弘

近藤 愛子

(大 15. 2. 2 生 81 歳 / 岐阜県)

ネパールのヒマラヤを訪れた際に、貧困で教育を受けられない現地の子どもの窮状を知り、教員退職後「ネパール子ども基金」を設立し、募金活動を行ないながら、1992 年からカトマンズの北西部の村に学校造りを始めた。以来小学校 12 校、中学校 2 校、高校・短大各 1 校を建設し、青少年の教育を支援されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

平井 廣二

(昭 9. 8. 26 生 73 歳 / 茨城県)

ネパールのヒマラヤを訪れた際に、貧しい生活のため教育を受けられずにいる住民の存在を知り、中学校長を退職後、1995 年に「茨城・ネパールに学校を造る会」を設立、同国のシンドパルチョーク郡に八校の小・中・高校を造った。「教育の場を提供することは、子ども達の命を守ることだ」と信じて活動されている。

推薦者 : 茨城県知事

北條 友梨 (昭 5. 5. 29 生 77 歳 / 東京都)

児童福祉施設「箱根恵明学園」の支援を 50 年以上にわたり続けるなかで、貧困で学校に通えないカンボジアの子ども達のことを知り、1994 年にボランティア団体「アーク」を設立し、私費と寄付などにより、プノンペン郊外に小学校を建設したのをはじめ、同国に 6 校、内モンゴルに 1 校の小・中学校を造り、子ども達の教育を支援されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

白岩 久夫 (昭 6. 11. 4 生 76 歳 / 東京都)

白岩 徳子 (昭 13. 3. 16 生 69 歳 / 東京都)

東京の下町の木場で、食事づくりによる社会貢献に乗り出し、「健康手作りの会」を発足し、高齢者の給食事業を始めた。以来 24 年、地域と連携したボランティアなど 21 人で、一人暮らしや身体の弱い老人に手作りの愛情弁当を 80 軒に年中休みなしで、宅配を続けられている。

推薦者 : 下村 のぶ子

五家 英子 (昭 27. 11. 1 生 55 歳 / 栃木県)

歌手として自費で発表している曲やチャリティーコンサートの収益金から車いすを購入し、ほぼ毎年、県内外の福祉施設へ 27 年間で 200 台を贈っている。また県内外の老人施設などで 2800 回を超える慰問公演を行なうなど福祉活動を続けられている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

柴田 久美子 (昭 27. 10. 12 生 55 歳 / 島根県)

島根県隠岐郡の離島、知夫里島の高齢者福祉センターでの勤務の中で、重介護が必要な高齢者から、故郷で最期を迎える「看取りの家」の設置を強く望まれ、その家となる「なごみの里」を設立し、島内外のニートと呼ばれる若者やボランティアとともに、ほとんど自費により、24 時間介護の看取りの家を運営されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

仲田 昭七 (昭 7. 3. 31 生 75 歳 / 奈良県)

平成 4 年、中学校教諭を退職後、奈良県の北西部地区において精神障害者自立支援のために、自宅を施設に提供するなど障害者の支援施設を次々と 7 施設を開設し、利用者主体の地域に密着した障害者の自立支援活動を展開されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

塚越 恒徳 (昭 21. 1. 20 生 61 歳 / 千葉県)

千葉県で障害学級の担任教諭としての傍ら、障害児者を支える様々な活動を 35 年以上続けられ、退職後も同県の白浜町に重度障害者のための共同生活実習所を開設するなど、障害児者のみならず子どもからお年寄り、ひきこもりなど障害や問題を抱える人達を支援する活動を展開されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

雨宮 清 (昭 22. 3. 7 生 60 歳 / 山梨県)

1994 年カンボジアのプノンペンで、地雷に触れた人々と手作業による命がけでの除去作業を見て、自社の油圧式ショベルカーを 6 年かけて開発、耐久性、切削性を備えた除去機を完成させ、同機を使用した積極的な地雷除去活動に取り組まれている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

永井 雄人 (昭 27. 2. 25 生 55 歳 / 青森県)

世界遺産の白神山地を守る会の代表として、同地が世界遺産に登録される以前から、植生の調査研究を行ない、同地で採取したブナの種を育成し、成長した苗木を植林し、ブナの森を再生する活動を続けられている。この活動は、地域を活性化させるとともに青森、秋田両県 20 数団体にも及ぶ活動に広がっている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

松崎 靖 (昭 27. 4. 5 生 55 歳 / 群馬県)

「郷土を美しくする会」の会長として、仲間と約 10 年前に地元の群馬県大間々町の大間々駅（わたらせ渓谷鉄道）で、素手にこだわったトイレ掃除活動を始めて以来、1 週も途切れることなく続けられている。この活動は、近隣の駅や公園、そして小学校のトイレ清掃活動に広がっている。

推薦者 : 矢野 亨

福田 千代子 (昭 8. 10. 10 生 74 歳 / 静岡県)

静岡県御殿場市の私立のハンセン病療養所（現在は一般の療養病棟を持つ病院）、神山復生病院の看護助手や調理担当者として、51 年にわたり、患者のよき理解者として誠実、献身的に尽され、退職後の現在も看護助手として奉仕されている。

推薦者 : 財団法人 神山復生病院

旗手 正守

(大 10. 1. 10 生 86 歳 / 広島県)

尾道市の離島である百島町の島内で発生した、救急患者を本土側に待機している救急車まで搬送する業務を自家用の船舶で同市から受託して以来、35 年にわたり生れ育った同島の島民のために続けられている。

推薦者 : 広島県尾道市

ストップ・ガン・キャラバン隊

(福岡県)

米国に留学中のわが子を銃によって奪われた家族が母体となって、米国の「銃社会」を米国の銃規制団体などと連携して告発する活動が主体だったが、その後日本国内で銃犯罪に巻き込まれた遺族やボランティア団体代表らも参加し、10 年以上にわたり銃器犯罪を国内外から根絶するための啓発、啓蒙活動を全国的に展開されている。

推薦者 : 渋田 民夫

岐阜・野宿生活者支援の会

(岐阜県)

平成 7 年の阪神淡路大震災のボランティアを経験した岐阜市内のキリスト教会の皆さんが、同市内のホームレスの支援活動に関心を持ち、有志に声を掛け、平成 10 年からリュックにおにぎりをつめて自転車で配る活動を始めた。その後活動は、活動会員 25 人による物資配布や炊き出しを基礎的活動とする生活相談や自立支援活動として続けられている。

推薦者 : 春田 英喜

田中 秀一

(昭 22. 3. 16 生 60 歳 / 富山県)

昭和 41 年、富山県氷見市に所在する女良漁港に設置されている女良港東防波堤灯台の監視協力者として委嘱を受けて以来、40 年にわたり同灯台を管理する海上保安部職員に代わり、忍耐と献身をもって続けられている。

推薦者 : 社団法人 燈光会

大滝 静男

(昭 4. 1. 11 生 78 歳 / 新潟県)

隣接する市部への移動は、車しかない新潟県の朝日村で、車椅子や高齢者などの通院や外出の手立てに、「朝日村にミニハンディキャブ（車椅子送迎車）を走らせる会」を発足させて以来、25 年にわたり 30 人の運転ボランティアとともに支え合いながら暮らせる村づくりに尽されている。

推薦者 : 社会福祉法人 朝日村社会福祉協議会

浜里 トミ (大 12. 5. 5 生 84 歳 / 沖縄県)

40 年以上にわたり沖縄の離島や小規模町村で看護師や助産師そして駐在保健師として、地域住民の健康と福祉の向上に尽された。さらに定年退職後も薬物の啓発活動や地域の老人の保健、福祉活動に寄与されている。

推薦者 : 社団法人 沖縄県看護協会

山本 雅基 (昭 38. 10. 24 生 44 歳 / 東京都)

山本 美恵 (昭 33. 4. 8 生 49 歳 / 東京都)

東京の山谷地区に病院から出されたり、行き場を失った人達の終のすみかとなり、人生の最後に光を見出せる「きぼうのいえ」を 2002 年に設立、すでに 49 人を看取られている。夫妻は、さらに山谷全体を在宅ホスピスにするような、在宅医療の先駆になるような活動にも取り組まれている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

エフゲニー・ニコラエビッチ・アクショーフ (大 13. 3. 5 生 83 歳 / 東京都)

東京の六本木に「インターナショナル・クリニック」を開設以来 50 年以上にわたり、来日する多くの外国人や在日外国人の医療に貢献されている。お金のない患者には無料で診察したり、場合によっては、生活費の支援までするなど、患者に優しさと奉仕の心で尽されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

眞喜子・山田・マゴナラ (昭 29. 8. 16 生 53 歳 / イタリア)

北イタリアに在住し、子育てや翻訳、通訳等の傍ら、広島の前市長や関係者と連携し、10 年以上にわたり、ウディネ市やヴェローナ市、そしてミラノ市などイタリア各地で被爆の「ヒロシマ」を伝える平和運動を展開され、平和への願いを発信し続けられている。

推薦者 : 濱岡 則子

清水 猛 (大 12. 5. 5 生 84 歳 / 富山県)

太平洋戦争で学徒兵として、フィリピンのカモステ諸島等で戦い、戦地で命を失った戦友の慰霊と現地との友好親善のために、15 年以上にわたり現地へ救援活動や医療奉仕活動、そして奨学金制度を設け若者の進学支援、あるいは礼拝堂を寄贈するなどの支援活動を続けられている。

推薦者 : 富山県知事

川端 千鶴子 (昭 9. 5. 12 生 73 歳 / ブラジル)

檜山 ミユキ (昭 12. 3. 8 生 70 歳 / ボリビア)

戦後日本からボリビアやブラジルに送られた開拓移民を支援する活動をシスター (Sister) として、40 年以上にわたり続けられている。川端さんはサンタクルスからサンパウロで、檜山さんはサンタクルスで、劣悪な生活環境のなかで、日本語や道徳などの教育から、共に泣き苦しみながら、生活全般の相談相手となるなど、献身的な活動を続けられている。

推薦者 : 海外邦人宣教師活動援助後援会 (JOMAS)

玄 秀盛 (昭 31. 5. 24 生 51 歳 / 東京都)

東京の新宿歌舞伎町に、DV (Domestic Violence) や家庭内暴力、家出、金銭トラブル、ストーカー、虐待などさまざまな人達の相談を受ける「新宿救護センター」を開設以来 5 年、面接 3 千人、電話 7 千人など 1 万件を超える現代版駆け込み寺を「たった一人しかいないあなたの命を救いたい」という想いで運営されている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

松本 淑子 (昭 16. 12. 13 生 65 歳 / 神奈川県)

「人間にとって本当に必要なことを追及しよう」と私設の軽度発達障害児者の教育訓練園「峠工房」を設立し、以来約 40 年で約 200 名を社会に送り出された。園児の成長をエネルギーに、工房でしかできない活動を続けられている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

カ・バン・トラン (昭 27. 1. 1 生 55 歳 / アメリカ)

ベトナム戦争のボートピープルとして米国に渡った後、祖国ベトナムで見放されている障害者の実情を知り、1991 年に関係の NGO を設立し、以来同戦争の地雷などによる被害者に、無料で 3 万本を超える義足の配布をはじめ、孤児やエイズなど社会の底辺で苦しむ人々の自立を目指した支援活動を続けられている。

推薦者 : 社会貢献支援財団

3. 特定分野の功績

「海の貢献賞」

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - ・ 抛出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - ・ 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

大森 幸夫

(昭 11. 6. 28 生 71 歳 / 兵庫県)

プロペラ軸等の船用製品を中心とした鍛造品の製造を行なう会社で、55 年にわたり鍛造作業に携わり、常に高温に晒された作業環境のなかで、チームリーダーとして鍛造プレス機とグループの作業の動きを巧みにコントロールするなど、鍛造品を造り上げるとともに若手技能者の育成に取り組まれている。

推薦者 : 社団法人 日本船用工業会